

英語科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】【外国語表現の能力】

- ・コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーション能力を身に付けさせる。
- ・外国語で話したり、書いたりして自分の考えを表現させていく。

	生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な改善策	手だての実施時期	成果検証（2月）
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・話す活動は積極的に行うことができる。 ・授業中の発言が多い。 ・英語そのものを苦手とする生徒が限定されてきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと〔やり取り〕」「話すこと〔発表〕」「書くこと」の5領域について、授業で繰り返し指導を行う。 ・毎授業で前時までの復習を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜 ・毎回 	
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ・話す活動は積極的に行うが、書く活動に関しては苦手意識を感じている生徒が多い。 ・授業中に頑張って発言する生徒は多いが、自発的に家庭で地道に単語や文章を書いて覚える生徒は少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日ノートによる書く活動を継続的に行い、書く手立てをきちんと指導する中で、苦手意識を払拭する。 ・家庭の協力を求めながら家庭学習を徹底させ、宿題を毎回チェックする。 ・復習確認テストを取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回 ・毎回 ・適宜 	
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ・話す活動は積極的に行う生徒が多いが、児童・生徒の学力向上を図るための調査などから書く活動が苦手な生徒も多くいることがわかった。 ・領域診断テストなどから、長文問題が苦手な生徒が多くいることがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと〔やり取り〕」「話すこと〔発表〕」「書くこと」の5領域について、授業で繰り返し指導を行う。 ・高校入試の過去問などを使い、長文問題の解き方を指導していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回 ・毎回 	
<p>■主体的・対話的で深い学びに関連して</p> <p>1年 課題提示の工夫、ペアワークの充実</p> <p>2年 課題提示の工夫、グループ活動の充実</p> <p>3年 課題提示の工夫、グループ活動の充実</p>		<p>■一人一台コンピューターの活用に関連して</p> <p>1年 コンピューターの活用は5技能のどの領域で発揮するかを検証</p> <p>2年 コンピューターの活用は5技能のどの領域で発揮するかを検証</p> <p>3年 コンピューターの活用は5技能のどの領域で発揮するかを検証</p>		